

我が家の フラワー

11 ガーベラ

ガーベラはキク科の半耐寒性多年草で、温帯および熱帯アジア、アフリカの山地に約400種が分布します。多数の園芸品種があり、切り花用品種とわい性の鉢花用品種もあります。いずれも白、桃、黄、赤など花色が豊富で、草姿も様々です。

花期は4～10月で、15℃以上あれば冬季でも開花します。戸外でも凍らないようにすれば越冬可能です。



【管理のポイント】

植え場所：日あたり、排水のよい肥沃な砂壤土

水やり：乾燥には比較的強く過湿を嫌うので、乾かし気味に管理します。

肥料：月に一回ずつ緩効性肥料を施します。特に最もよく生長する春と秋には1000倍に薄めた液肥を週に一回施します。

葉かぎ：葉が茂りすぎると花立ちが減少するので古葉をかきとり株元に日光が十分当たるようにします。

株分け：年に一回、2月下旬～3月頃、芽が動き出す前に2、3芽を残して株分けします。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
生育状態	冬越し		生育			開花					冬越し	
置き場/日光	戸外の日当たり（無遮光）											
水やり	控えめ		乾いたら								控えめ	
肥料	植え替えごとに元肥				液体肥料（1～2か月に1回）							
作業	タネまき 鉢上げ さし芽、株分け											

ガーデニング

県園芸総合センター

竹内 小百合



12 ハナミズキ

ハナミズキ（別名アメリカヤマボウシ）は北アメリカ原産の落葉小高木で、5～10mになります。4～5月に花弁化した大きな4枚の包が開き、その中心に黄緑色の小花が集まって咲きます。秋になると紅葉し、果実も赤く熟します。明治の末に、日本がアメリカに桜の苗木を送った返礼として日本に入りました。



【管理のポイント】

植えつけ場所：特に土質は選びませんが、日あたりのよい砂質土で排水のよい肥沃地が理想的です。

水やり：特に夏から秋にかけて極端に乾かしすぎると夏に葉が枯れてしまい、花が咲かない原因の一つになります。

肥料：2～3月に窒素分の多い肥料を、8月下旬に窒素分が少なくリン酸やカリ分の多い肥料を根の周辺に施します。

着花習性：新梢の中の太くて短く、充実している枝の頂部に7月頃、翌年の花となる花芽がつくられますが、長く伸びた枝や、徒長枝には花芽はつきません。

剪定：基本的には無剪定でかまいません。夏に新梢の先端に花芽ができ、秋には蕾として認められるので、花の落ちた12～2月頃、花芽のない長い枝や、込みすぎた細かい枝を間引く程度にとどめておきます。

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
				開花			花芽分化開始～存在期			果実	紅葉	
		つぎ木	さし木			さし木					とりまき	
庭植え		植えつけ・植え替え ①施肥1回 剪定			②施肥1回				③施肥1回		植えつけ・植え替え 剪定	
鉢植え		植えつけ・植え替え ④施肥1回			液肥(週1回)				⑤施肥1回		植えつけ・植え替え 剪定	
		灌水は2～3日ごと			1日1回			1日2回			1日1回	